

畜産業の持続的な発展に向けた支援策

～松本食肉施設の閉鎖を乗り越え、未来につながる畜産業へ～

令和8年2月5日策定

令和8年6月12日更新

長野県農政部

本県の畜産業は、担い手の不足や飼料・資材価格の高騰という厳しい状況に加え、松本食肉施設の閉鎖という大きな転換期を迎えています。

こうした課題を乗り越え、生産者が夢と希望を持って畜産経営を行い、将来に向けて力強く歩み続けられるよう、次に掲げる3本の柱の下に支援策を取りまとめ、令和8年度から12年度までの5年間で「重点支援期間」と位置付け、集中的に支援を実施してまいります。

今後は、今回予算編成したものに加え、必要な支援策を「畜産振興検討会議※」における議論を踏まえ具体化し、順次打ち出してまいります。

※生産・流通・販売・消費の各段階に携わる関係者及びJAグループや行政機関で構成する会議

支援策の全体像

1 持続的な生産に向けた生産基盤の強化・構造転換

- ① 付加価値・生産性向上への支援
 - ・畜産経営体の持続的な生産システムを構築する取組を支援
- ② 経営規模拡大への支援
 - ・施設整備への支援
- ③ 飼料増産への支援
 - ・飼料の安定確保に向けた取組への支援

2 松本食肉施設の閉鎖に伴う影響の緩和

- ① 激変緩和への対策
 - ・生産者の掛かり増し経費への支援
- ② 効率的な出荷体制への支援
 - ・家畜運搬車両の導入への支援 ・農場の出荷体制整備への支援
- ③ 食肉流通体制再編への支援
 - ・北信食肉施設の受入体制整備への支援

3 消費拡大、ブランド価値の向上

- ① 県産畜産物の流通拡大への支援
 - ・県内外に向けた県産畜産物の販売促進
- ② 県産畜産物のブランド価値向上への支援
 - ・県内イベントとの連携支援 ・信州プレミアム牛肉の輸出拡大
 - ・県産ブランド畜産物の魅力発信

支援策の実行に係る予算

・令和7年度1月補正予算	562,062 千円
・令和8年度当初予算	520,323 千円
・ <u>令和8年度6月補正予算</u>	<u>165,825 千円</u>
（債務負担行為）	80,000 千円

〈令和8年度6月補正予算及びこれまで予算化した支援策〉

1 持続的な生産に向けた生産基盤の強化・構造転換

① 付加価値・生産性向上への支援

- ・畜産経営体の持続的な生産システム構築する取組を支援

【R8当初：持続可能な畜産経営推進事業(455,128千円)】

畜産経営体の収益構造改善を図るため、生産性・付加価値向上に資する経営基盤の強化・構造転換に向けた取組を支援します。

(重点支援メニュー)

公共性の高い畜産環境対策(臭気、汚水)や飼養環境改善・エコフィード利用拡大のための施設・設備の新設・改修・修繕

家畜排せつ物の高度処理や家畜の飼養環境の改善等に必要な施設整備等を支援します。

補助対象者	畜産経営体等
補助対象経費	畜産環境対策や飼養環境改善などの施設・設備の整備費用
補助率	事業費300万円以下 3/4 以内 事業費300万円超 1/2 以内 (補助上限 1,500 万円)
実施年数	5年(令和8～12 年度)

(経営継続支援メニュー)

(1) 暑熱対策設備(細霧冷房や送風機等)の導入

酷暑による夏場の生産量の減少を防ぐため、畜舎の暑熱対策を支援します。

(2) 省エネルギー対策設備(冷蔵・冷凍設備等)の導入

エネルギーコストの削減を促進するため、省エネ設備等の導入を支援します。

(3) 生産性向上に資する機械・設備等の導入

生産性を向上させるため、スマート畜産機器や省力化機械等の導入を支援します。

(4) 草地の改良・食害防止・放牧・国産飼料の利用拡大

飼料費の低減と国産飼料の安定的な確保を図るため、草地の改良や獣害防止柵等の導入を支援します。

(5) 高能力種畜の導入

飼養頭数の増加や遺伝的能力向上を図るため、高能力な種畜の導入を支援します。

(6) 畜産コンサルタントの導入

生産者が専門家やコンサルタントに経営相談するための経費を支援します。

(7) 自ら生産した畜産物の販売促進に係る取組

付加価値を高めるため、畜産物を加工する機械や販路拡大のための商談会への出展経費等を支援します。

(8) その他生産性の向上に資する取組

社会的要求が高い、アニマルウェルフェア(家畜の快適な成育環境実現)や環境と調和の取れた畜産の推進に向けた温室効果ガス排出量削減等の取組、安全・安心な畜産物を供給するための農場 HACCP 認証取得に必要な取組を支援します。

補助対象者	畜産経営体等
補助対象経費	上記(1)～(8)のいずれか(複数含む)の取組
補助率	事業費300万円以下 3/4 以内 事業費300万円超 1/2 以内 (補助上限 500 万円)
実施年数	5年(令和8～12 年度)

② 経営規模拡大への支援

・施設整備への支援

【R8 当初：畜産振興施設整備事業補助金（65,195 千円）】

【R7.1 補：畜産振興施設整備事業補助金（551,200 千円）】

畜産の収益性向上やコスト削減等を図るため、中心的な畜産経営体が行う施設等の整備を支援します。

補助対象者	畜産クラスター協議会
補助対象経費	家畜の飼養管理施設・設備の整備費用
補助率	1/2 以内

③ 飼料増産への支援

・飼料の安定確保に向けた取組への支援

【R7.1 補：未利用飼料資源利用促進支援事業(4,839 千円)】

飼料として利用可能な未利用飼料資源の利用を拡大する取組を推進します。

実施内容	未利用飼料資源の保存方法や輸送方法等の課題解決、食品事業者と畜産農家とのマッチング等
------	--

2 松本食肉施設の閉鎖に伴う影響の緩和

② 効率的な出荷体制への支援

・家畜運搬車両の導入への支援

【R8 当初：持続可能な畜産経営推進事業の一部】

【R8.6 補(債務負担行為)：持続可能な畜産経営推進事業（80,000 千円）】

効率的に家畜を運搬するための大型車両の導入や、高温下での長距離輸送に対応する暑熱対策等を講じた車両の導入及び改修を支援します。

補助対象者	松本食肉施設の閉鎖により出荷先を変更した運搬車両所有経営体または運搬事業者
補助対象経費	大型車両、省エネ車両の導入による輸送環境の改善に係る経費
補助率	1/2 以内（補助上限 2,000 万円）
実施年数	5年(令和8～12 年度)

③ 食肉流通体制再編への支援

・北信食肉施設の受入体制整備への支援

【R8.6 補：北信食肉施設機能強化支援事業(165,825 千円)】

県内施設を最大限に活用し、松本食肉施設出荷分の家畜を受け入れるために必要な機械の導入等を支援します。

補助対象者	株式会社北信食肉センター
補助対象経費	食肉施設の機能強化に資する機械の導入、更新に要する経費
補助率	1/3 以内

3 消費拡大、ブランド価値の向上

① 県産畜産物の流通拡大への支援

② 県産畜産物のブランド価値向上への支援

【R7.1 補：おいしい信州の食肉消費拡大事業(6,023 千円)】

県産牛肉及び豚肉等の県内外での販売促進を図るため、食肉関係事業者や観光事業者等と連携した販売促進活動等を推進します。

〈検討中の支援策〉

2－① 激変緩和への対策

・生産者の掛かり増し経費への支援

松本食肉施設の閉鎖により、他の施設を利用することになる生産者の掛かり増し経費に対し支援を行い、出荷経費等の負担の軽減を図ります。

○生産者説明会で示した支援策のたたき台

補助対象者	松本食肉施設出荷者
補助対象経費	他の施設を利用する掛かり増し経費
補助率	1/2 以内
実施年数	3年(令和 10～12 年度)

○検討の状況

生産者からの意見を踏まえ、支援期間の延長も含めて J A グループや市町村と連携した支援の制度設計を検討していきます。

2－② 効率的な出荷体制への支援

・農場の出荷体制整備への支援

大型車両に対応した農場の搬出口等の改修や、防疫レベルを向上させるための消毒設備等の整備を支援します。

○検討の状況

大型車両の導入要望等を踏まえ、実情に合わせた支援を検討していきます。